

2020年7月27日

栃木県助産師会
会員 各位

栃木県助産師会 保健指導部会長
副会長 藤川智子

「母乳育児支援に関する安全評価」へのご協力をお願い

母乳育児支援における安全性を高めるための自己評価

時下、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、日本助産師会の運営にご理解・ご協力賜り誠にありがとうございます。

「母乳育児支援に関する安全評価」は、日本助産師会が母乳育児支援の安全評価について平成26年度より調査を開始し、各都道府県のデータ化してきています（結果については「助産師」において報告されています）。母乳育児支援を安全に行うために必要な自己評価です。

日本助産師会は保健指導部会員のみの調査となっていますが、母乳育児支援は、助産所でも勤務助産師も行っていることであり、栃木県助産師会としては、全会員対象に実施しております。本年度も引き続きデータ集積を行い、母乳育児支援の安全性と質向上への支援に努めたいと思います。毎年1回の評価とデータ化は、今後も継続して実施いたします。お忙しいところ恐縮ではございますが、何卒ご協力、ご理解いただけますようお願い申し上げます。

記

1. 対象：栃木県助産師会会員（本部へは保健指導部会員のみ抽出し報告します）
（2019年9月1日～2020年8月31日に母乳育児支援に関わった上記会員）
※ 1年間母乳育児支援のお仕事している会員の皆さんが、8月の時点でどの程度安全管理が実施できているか自己評価をお願いいたします。
※ 母乳育児支援を行っている**栃木県助産師会会員の皆様全員に評価をお願いいたします。評価票にお名前・3部会のどれに所属しているか・開業届を提出済の方は助産院の名称もご記入ください。**
2. 締切：9月1日までに提出をお願いします。
3. 提出先：**母性看護学研究室** <maternity@jichi.ac.jp>
あるいは、Fax：0285-58-7516
4. 栃木県助産師会のHPからもダウンロードできますのでご利用ください。
ダウンロードできない時は上記までご連絡ください。
5. 評価についての留意事項
 - 1) 開設届の有無にかかわらず、すべての項目に対して自己評価をしてください。
 - 2) 「報告」項目については、経験の有無に関わらず、報告ルートや体制を知っていれば、「できる」と評価してください。
 - 3) 結果：機関誌「助産師」に掲載予定

以上